



Round Table Discussion

座談会



渡邊 衡一郎

WATANABE Koichiro

杏林大学医学部
精神神経科学教室教授

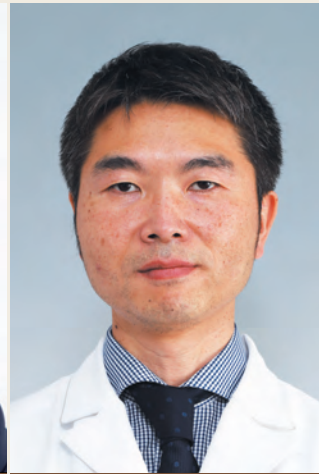
司会



松尾 幸治

MATSUO Koji

埼玉医科大学医学部精神医学教授 /
埼玉医科大学病院神経精神科・心療
内科診療部長



岸 太郎

KISHI Taro

藤田医科大学医学部
精神科准教授



宗 未来

SO Mirai

東京歯科大学市川総合病院精神科
部長・准教授

(発言順)

テーマ

双極性障害ガイドラインの 全面改訂について

2011年に作成され、4度の改訂を重ねた『日本うつ病学会治療ガイドライン I. 双極性障害』が2022年、全面的に改訂される。改訂版では、臨床における重要な課題「クリニカル・クエスチョン (CQ)」に対しEBM (根拠に基づく医療) に則った「推奨度」を提示する、近年多くの診療ガイドラインでとられている構成が採用される予定だ。今回は、ガイドライン作成委員の先生方に、改訂の経緯や実際のプロセスについてご紹介いただいた。